

(様式2)

学校関係者評価報告書

(愛媛県立今治北高等学校)

学校番号 (16)

評価実施日	令和 7年 2月 12日 (水)		
委員	氏名	所属等	備考
	原田 慎二	学校評議員	
	越智 篤	学校評議員	
	檜垣 美香子	学校評議員	
	長野 シゲミ	学校評議員・学校関係者評価委員	
	伊東 昌紀	学校関係者評価委員	
	篠宮 博幸	学校関係者評価委員	
	瀬戸 由紀子	学校関係者評価委員	
	八塚 誠一	学校関係者評価委員	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <p>アンケート結果が良い評価であるので、学びの場として先生方がしっかり教えてくださっていると感じている。</p> <p>1年生の人権・同和教育ホームルーム活動を参観した。クラスによって授業内容が違った。もし同和地区出身の当事者の生徒がクラスにいた場合はどう教えていくのだろうと思った。統一して同じ内容をした方がいいと思った。</p> <p>(2) 生徒指導</p> <p>自転車の法改正が行われたが、実際今治市内でもイヤホンをしたりスマホを見ながら運転している高校生がいる。</p> <p>新聞を読まない、ニュースを見ないという高校生が多くなってきているように感じる。スマホからの情報は正しいものだけとは限らないので、学校から正しいニュースを発信してほしい。</p> <p>アンケートの生徒の意見で、「夏服での身だしなみ指導の時に、ブラウスの下に衣服を着ているかをチェックするとき異性の教員がいた」とあるが、この点は気を付けなければならない。</p> <p>(3) 進路指導</p> <p>学校推薦型選抜の合格者が少ないのは共通テストになった影響があるのか。大変だと思うが対応してほしい。</p> <p>共通テストでは情報の試験が始まった。保護者にも入試の情報を提供してほしい。</p> <p>日本石油地下備蓄への就職が復活したのがよい。</p>	<p>・1年生の人権・同和教育ホームルーム活動では、「さまざまな人権問題」について学習する。そのため、各クラスがいろいろなテーマで学習する。2年生では、歴史学習を行うので、統一した学習内容になる。</p> <p>・現在行っている玉川町との連携をさらに深め、地域の現状を学び、自分たちの人権意識を高める活動につなげていきたい。</p> <p>・今年度は国際自転車安全会議に参加した。その会議で学んだこと等を活かして、交通ルールの規範意識の高揚や、命の大切さを伝えていきたい。</p> <p>・非行防止教室では、情報モラルについての講習を受けた。学んだことを深化できるように取り組んでいきたい。</p> <p>・今年度については、校則の見直しに取り組んだ。これからも時代の変化や要望に対応できるように検討していき、説明がつかないものに関しては変えていく必要があると考えている。</p> <p>・大学入試の問題において、問題文が長くなる傾向にあり、日常生活に関連した内容を取り扱うようになってきた。また、全ての教科で読解力が必要になってきた。これらのことと本校生徒の結果が関係していると考えられる。入学試験に対応できるように指導していきたい。また、情報提供も随時行っていく。</p>

2 重点目標について

生徒の授業評価アンケートで、「あなたは授業の内容を理解していますか」という問いに対する答えは85%以上の生徒が「はい」「どちらかといえば、はい」と答えているが、進学実績につながっていない。進学実績の低下も話題に上がったが、生徒の意識と教員側の意識のずれがあるのではないか。

3 説明・公表について

ホームページの校長先生から受験生へのメッセージがよかった。

ホームページでクッキーを販売したいと言っていたが、その後どうなったのか知りたい。

4 学校への提言

学校全体として、スッキリした環境で、生徒たちは楽しく、落ち着いた雰囲気の中で学習できていた。

地域魅力課がとても魅力的だと思った。総合的な探究の時間の様々な活動を通して、今治の良さや将来になりたい職業等をよく勉強できると思った。地域魅力課は本校の魅力になるので、自分を高めていくことができる生徒を育て、子供たちの希望をかなえていくためにより発展させてほしい。

生徒からの要望で、校則が変更になった点についても良いことだと思う。

・アンケート結果全体としては肯定的な意見が多く、昨年度から大きく変わった点は特にない。生徒の授業に対する姿勢を改善できるように教職員で取り組んでいきたい。

・クッキーに関して、クッキー缶は生徒が作成した。業者をお願いして商品にしようとしているが、実現できていない。

・貴重なご意見ありがとうございました。これからの学校運営に生かしていきます。

・地域魅力課を磨き上げていきたい。目まぐるしく変化する時代に対応できるように、総合的な探究の時間を充実させて、体験的な学習を行ってきたい。友人との合意形成は仕事をするうえで大切だと考えている。これからも、地域の現状や実際のビジネスに触れることで、地域理解の質を高めていきたいと思う。また、志望理由書や活動報告書に記載する内容が具体的になるなどの充実が図られているので、今後もさらなる充実を図りたい。

・生徒たちが前向きに取り組んでいけるよう、今後とも尽力していきます。今後とも多方面からの御意見を願います。